

第4章 用途別公共施設の現状

第4章 用途別公共施設の現状

1. 本章について

(1) 対象施設

本章は、本市の公共施設の現状を「量（ストック）」「建物状況（老朽度等）」「財務状況（コスト）」「供給状況（サービス）」の視点からとらえ、それらの調査・分析結果を明らかにしたものです。これらの情報を分かりやすく整理し、それを公開することにより、施設所管課の枠を超えて横断的な比較を行えるようにしました。

公共施設の「規模・建物情報」、「財務情報」、「供給情報」を明らかにするとともに、公共施設の今後のあり方を広く議論するための基礎資料として位置づけています。

本章は、表 4.1.1 に示す建物施設を対象としていますが、「財務情報」、「供給情報」については、施設カルテ※を作成した施設を中心に比較しています。

表 4.1.1 用途別公共施設の対象施設

	建物施設				内カルテ対象	
	施設の用途(大分類)	施設の用途(中分類)	施設数	棟数	施設数	棟数
一般 会計	学校教育系施設	学校	30	221	30	221
		学校給食センター	9	10	9	10
	市民文化系施設	集会施設	56	109	56	109
		ホール施設	9	9	9	9
		文化施設	1	2	1	2
	社会教育系施設	図書館	4	5	4	5
		博物館等	13	62	13	62
	スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設	49	128	36	105
		レクリエーション施設	11	45	7	40
	産業系施設	産業系施設	9	23	9	23
		観光系施設	8	17	7	16
		農林水産業系施設	20	45	17	42
	子育て支援施設	幼保・こども園	17	27	17	27
		幼児・児童施設	15	21	15	21
	保健・福祉施設	高齢福祉施設	5	11	5	11
		保健施設	4	7	4	7
	医療施設	医療施設	2	25	2	25
	行政系施設	庁舎等	4	27	4	27
		消防施設	6	20	6	20
		消防屯所	138	149		
		その他行政施設	15	23	5	10
	公営住宅	公営住宅	26	402	26	402
	公園	公園施設	76	106	2	6
清掃施設	清掃施設	2	16	2	16	
その他建築系公共施設	駐車場・駐輪場	5	20	4	19	
	斎場・墓園	7	9	3	4	
	その他建築系公共施設	40	46	1	4	
歴史的建造物	歴史的建造物	4	8			
普通財産	普通財産	42	89			
特別 会計	下水道	下水道	4	5		
	農業集落排水	農業集落排水	9	10		
	コミュニティプラント	コミュニティプラント	1	1		
	市場	市場	1	9		
総計			642	1,707	294	1,243

※施設カルテとは
 施設カルテとは、施設ごとに、建物の基本情報、(所在地、施設概要等)、財務情報、供給情報、単位当たりデータ比較などに関する情報をまとめたものです。また、施設カルテは下記の基準に基づき作成しました。
施設カルテ作成基準
 ・1 施設 100㎡以上の建物で構成される施設
 ・ただし、100㎡以上であっても消防屯所、歴史的建造物、普通財産、特別会計の建物施設は、対象外としました。

(2) 特記事項

1) 施設分布図

- ①この地図は、国土地理院の基盤地図情報を使用しています。
- ②用途毎の現状で名称が表示されている建物施設は、施設カルテを作成した施設です。



図 4.1.1 施設分布図（位置関係）

2) 規模・建物情報

- ①延床面積 施設に複数の棟がある場合には、それらの合計で表示しています。
- ②建築年 施設に複数の棟がある場合には代表的な建物の建築年を表示しています。
- ③経過年数 平成 27(2015)年 4月 1日現在の経過年数を表示しています。
- ④配置形態 同一施設内に複数の用途がある場合には複合と表示しています。
- ⑤運営形態 平成 27(2015)年 4月 1日現在の運営形態で、「直営」、「指定管理」、「委託」、「使用許可」、「貸付」を表示しています。
- ⑥耐震化 「○」は新耐震基準又は、旧耐震基準で耐震改修を行った施設です。
「△」は複数の棟がある施設で、一部の棟のみが未耐震の施設です
「×」は旧耐震基準で診断を行っていない施設、耐震診断を行った結果耐震基準を満たさなかった施設のいずれかの施設です。
- ⑥カルテ 「○」は施設カルテの対象施設、「×」は施設カルテの対象外施設です。

3) 財務情報

- ①歳出 施設の運営に要する経常経費で、光熱水費（電気料、水道料など）、維持管理費（保守点検経費・修繕料など）、指定管理料、使用料（土地借上料など）、人件費（理論値）の合計です。
施設の用途により、建物の維持経費のみ（学校、庁舎など）と、全ての経費（保育園、公営住宅など）を計上しています。
- ②歳入 施設の経常収入で、使用料、財産収入、その他の合計です。

4) 供給情報

用途により、年間の合計、基準日である各年の4月1日の数値を表示していますが、統計等の基準日がある場合にはその基準日（例：児童数5月1日）の数値で表示しています。

5) 平均の計算方法

単純平均で計算しています。なお、調査結果が不明だった項目、各年で存在していない施設（例：高村光太郎記念館は平成25年開館）の項目は除外して計算しています。

2. 用途別の現状

(1) 学校教育系施設

1) 施設の概要と配置の状況

施設数は39施設で、小学校19施設、中学校11施設、学校給食センター9施設となっています。

延床面積は169,893㎡で、小学校95,869㎡、中学校70,008㎡、学校給食センター4,016㎡で、全建物施設のうちの32.2%の割合を占めています。

表 4.2.1.(1) 学校教育系施設の概要

	施設数	棟数	延床面積(㎡)	施設平均の延床面積(㎡)
小学校	19	120	95,868.70	5,045.72
中学校	11	101	70,007.57	6,364.32
学校給食センター	9	10	4,016.47	446.27
合計	39	231	169,892.74	4,356.22



図 4.2.1.(1) 学校教育系施設の施設分布図

2) 規模・建物情報

経過年数が30年以上の施設数は21施設で、小学校13施設、中学校6施設、学校給食センター2施設となっています。

耐震化の状況は、中学校2施設で耐震性確保が課題となっています。

表 4.2.1.(2) 学校教育系施設の一覧

①小学校

番号	施設名	地区	延床面積 (㎡)	建築年	経過年数	棟数	配置形態	運営形態	耐震化	カルテ
1	桜台小学校	花巻	7,760.49	S53 (1978)	37	10	単独	直営	○	○
2	花巻小学校	花巻	8,020.50	S55 (1980)	35	8	複合	直営	○	○
3	若葉小学校	花巻	8,155.00	H15 (2003)	13	4	単独	直営	○	○
4	南城小学校	花巻	5,737.04	S60 (1985)	30	6	複合	直営	○	○
5	湯口小学校	花巻	4,526.72	S56 (1981)	34	7	複合	直営	○	○
6	湯本小学校	花巻	5,723.88	S54 (1979)	36	8	複合	直営	○	○
7	矢沢小学校	花巻	6,072.95	S48 (1973)	43	10	複合	直営	○	○
8	宮野目小学校	花巻	5,427.00	H11 (1999)	17	6	単独	直営	○	○
9	太田小学校	花巻	3,286.00	S44 (1969)	47	10	単独	直営	○	○
10	笹間第一小学校	花巻	4,112.00	S56 (1981)	34	7	複合	直営	○	○
11	笹間第二小学校	花巻	2,394.20	S58 (1983)	33	7	単独	直営	○	○
12	大迫小学校	大迫	4,918.97	H5 (1993)	23	4	単独	直営	○	○
13	内川目小学校	大迫	2,629.80	S53 (1978)	37	4	単独	直営	○	○
14	亀ヶ森小学校	大迫	3,205.00	H10 (1998)	17	4	単独	直営	○	○
15	石鳥谷小学校	石鳥谷	5,710.00	S55 (1980)	36	6	単独	直営	○	○
16	八幡小学校	石鳥谷	3,087.00	S56 (1981)	34	6	単独	直営	○	○
17	八重畑小学校	石鳥谷	3,689.00	S58 (1983)	32	5	単独	直営	○	○
18	新堀小学校	石鳥谷	3,667.00	S63 (1988)	27	4	複合	直営	○	○
19	東和小学校	東和	7,746.15	H23 (2011)	5	4	単独	直営	○	○

②中学校

番号	施設名	地区	延床面積 (㎡)	建築年	経過年数	棟数	配置形態	運営形態	耐震化	カルテ
20	花巻北中学校	花巻	5,632.41	S62 (1987)	28	7	単独	直営	○	○
21	花巻中学校	花巻	9,121.49	H6 (1994)	21	8	複合	直営	○	○
22	南城中学校	花巻	5,047.12	S58 (1983)	32	7	単独	直営	○	○
23	湯口中学校	花巻	4,625.30	S45 (1970)	46	13	単独	直営	×	○
24	湯本中学校	花巻	4,874.69	S49 (1974)	41	11	単独	直営	○	○
25	矢沢中学校	花巻	5,251.70	S52 (1977)	38	11	単独	直営	○	○
26	宮野目中学校	花巻	5,042.00	S51 (1976)	39	9	複合	直営	○	○
27	西南中学校	花巻	6,452.17	H20 (2008)	7	6	単独	直営	○	○
28	大迫中学校	大迫	6,752.25	S44 (1969)	47	13	単独	直営	×	○
29	石鳥谷中学校	石鳥谷	9,428.44	H21 (2009)	6	10	単独	直営	○	○
30	東和中学校	東和	7,780.00	H14 (2002)	14	6	複合	直営	○	○

③学校給食センター

番号	施設名	地区	延床面積 (㎡)	建築年	経過年数	棟数	配置形態	運営形態	耐震化	カルテ
31	花巻学校給食センター	花巻	629.71	H1 (1989)	27	1	複合	直営	○	○
32	南城学校給食センター	花巻	458.95	H7 (1995)	21	1	複合	直営	○	○
33	湯口学校給食センター	花巻	321.71	H4 (1992)	24	1	複合	直営	○	○
34	湯本学校給食センター	花巻	259.00	S54 (1979)	37	1	複合	直営	○	○
35	矢沢学校給食センター	花巻	286.38	H11 (1999)	17	1	複合	直営	○	○
36	宮野目学校給食センター	花巻	370.69	H14 (2002)	14	2	複合	直営	○	○
37	西南学校給食センター	花巻	275.00	S56 (1981)	34	1	複合	直営	○	○
38	石鳥谷学校給食センター	石鳥谷	888.88	H14 (2002)	13	1	単独	直営	○	○
39	東和学校給食センター	東和	526.15	H14 (2002)	14	1	複合	直営	○	○

3) 財務情報

① 小学校

歳出は、横ばい傾向にあります。歳入は、増加傾向にあります。

歳入は、矢沢小学校と東和小学校で比較的高くなっています。

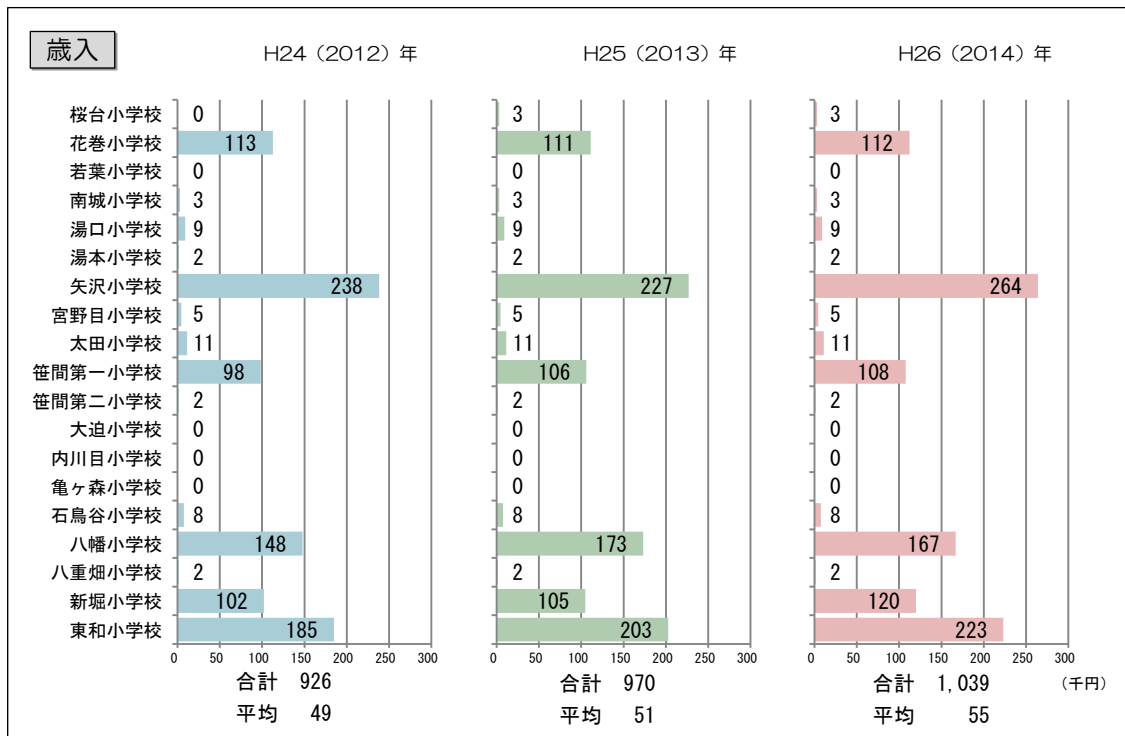
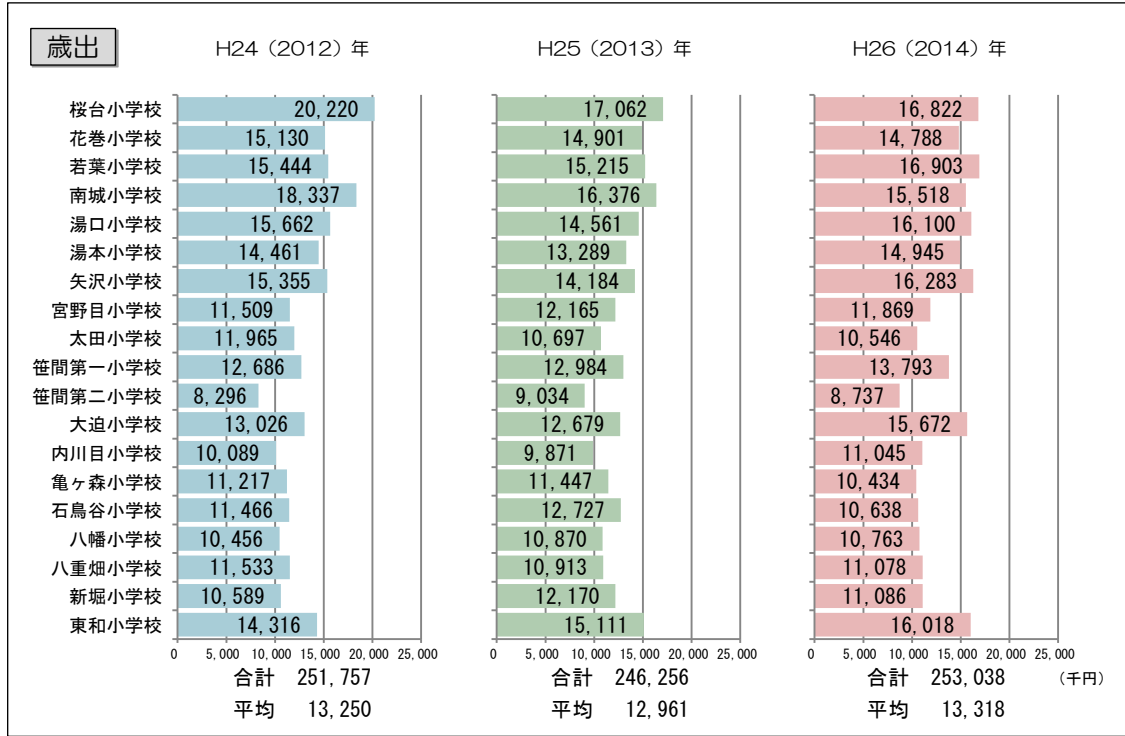


図 4.2.1.(2) 小学校の歳出・歳入

②中学校

歳出、歳入とも横ばい傾向にあります。

歳出は、施設規模が大きく、学校給食センターと併設している花巻中学校と東和中学校で比較的高くなっています。

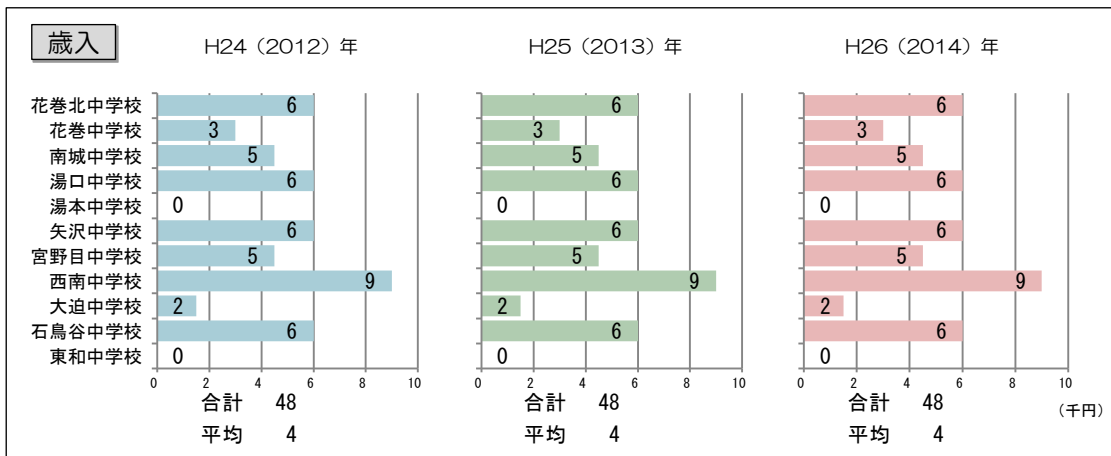
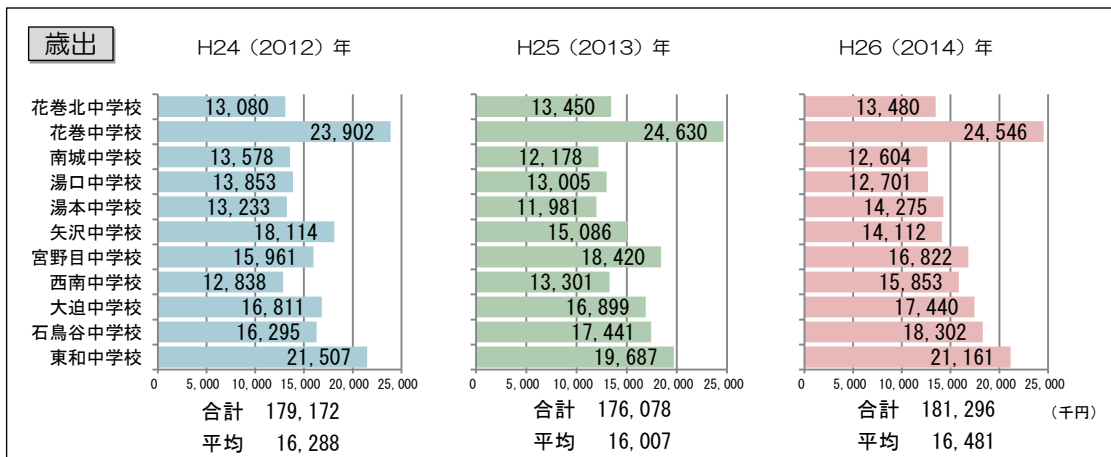


図 4.2.1.(3) 中学校の歳出・歳入

③学校給食センター

歳出は、やや増加傾向にあります。歳入はありません。

給食数の多い花巻学校給食センターで突出して高くなっています。

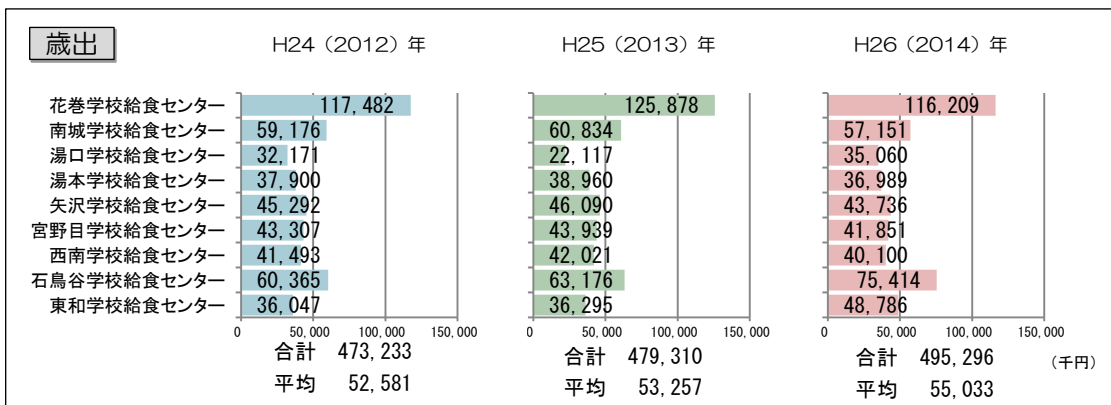


図 4.2.1.(4) 学校給食センターの歳出

4) 供給情報

①児童・生徒数

小学校の児童数は、やや減少傾向にあります。

桜台小学校、花巻小学校、若葉小学校など市街地の施設は横ばい傾向にあります。

中学校の生徒数は、横ばい傾向にあります。

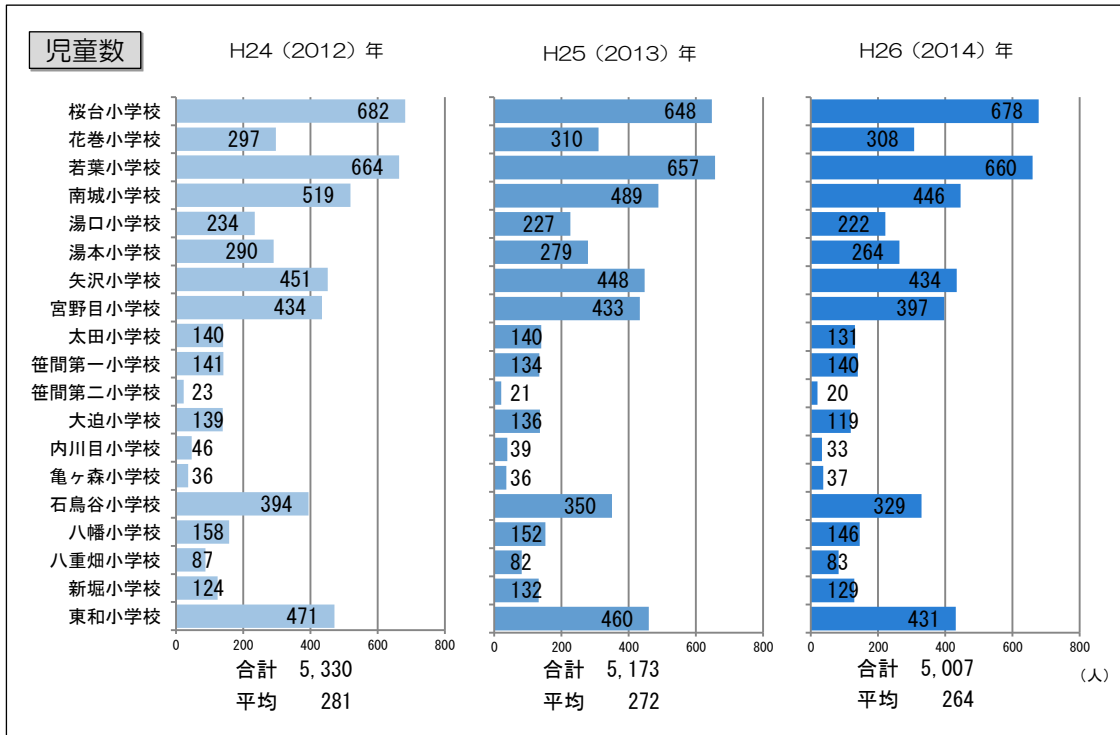


図 4.2.1 (5) 小学校の児童数

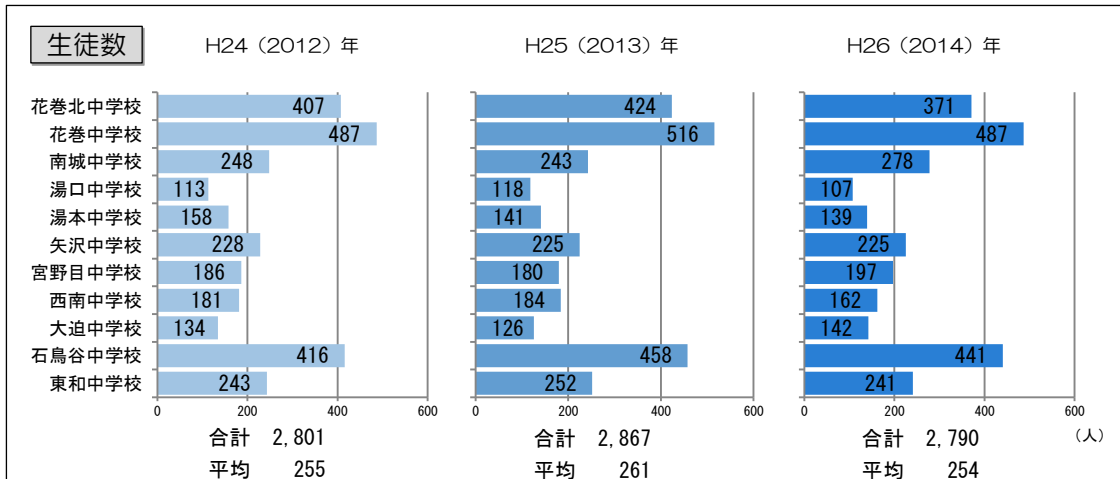


図 4.2.1.(6) 中学校の生徒数

②余裕教室・普通教室数

小学校の余裕教室は、やや増加傾向にあります。

花巻小学校、矢沢小学校、石鳥谷小学校など古い施設で比較的高くなっています。

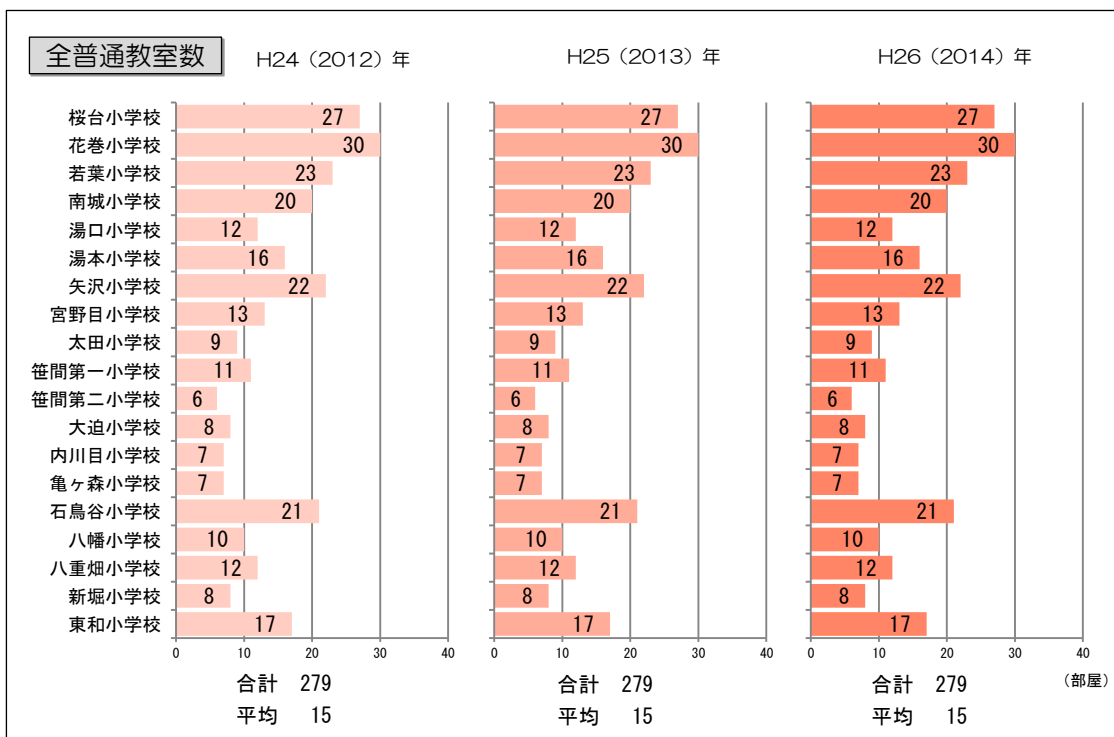
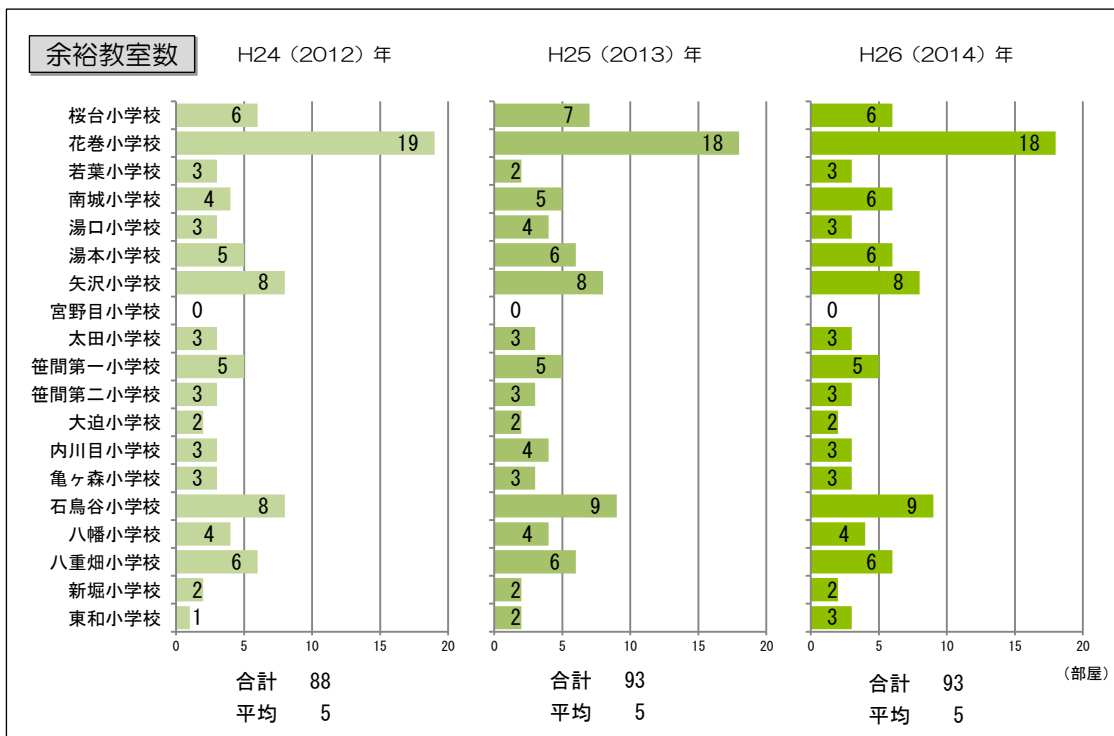


図 4.2.1 (7) 小学校の余裕教室数・全普通教室数

中学校の余裕教室数は、やや増加傾向にあります。
施設が古い大迫中学校で突出して高くなっています。

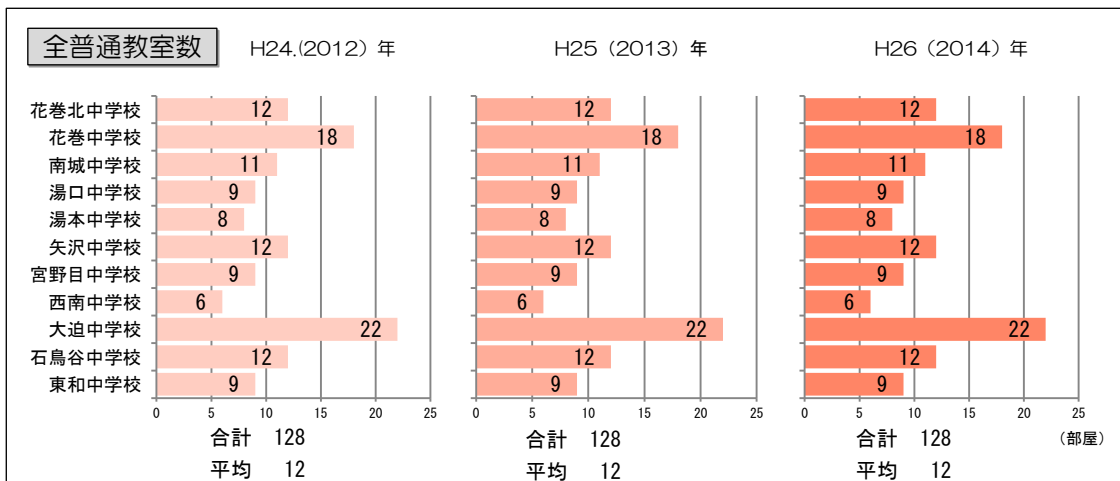
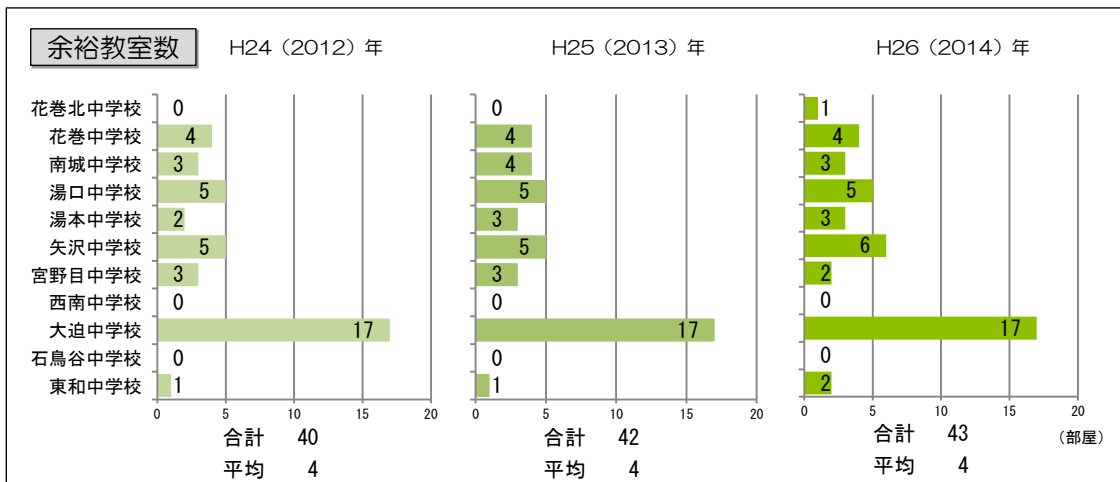


図 4.2.1.(8) 中学校の余裕教室数・全普通教室数

③年間食数・一日あたりの給食数

学校給食センターの年間食数、一日あたりの給食数ともにやや減少傾向にあります。年間食数、一日あたり給食数ともに花巻学校給食センターで突出して高くなっています。

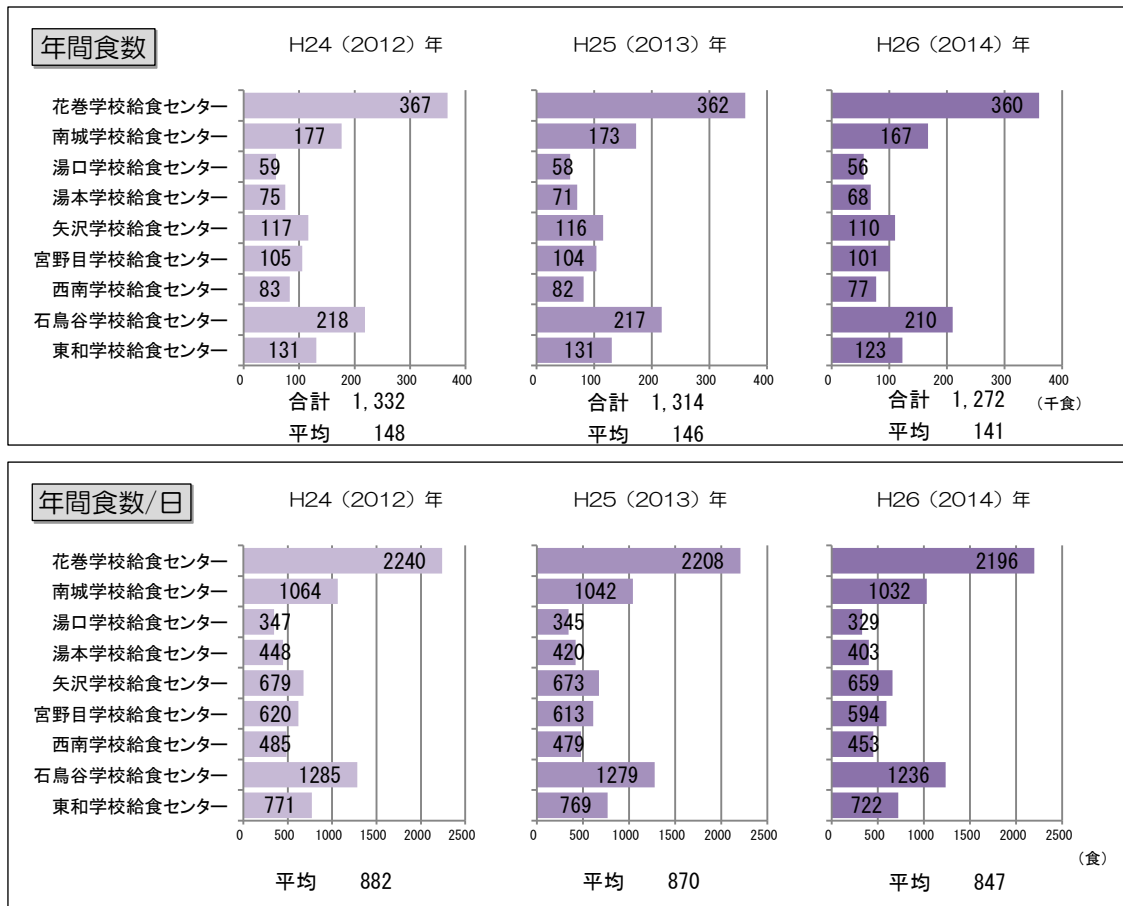


図 4.2.1.(9) 学校給食センターの年間食数・一日あたりの給食数

5) 延床面積・供給情報あたりの歳出の比較

①小学校

延床面積あたりの歳出は、横ばい傾向にあります。

児童数あたりの歳出は、児童数の減少にともない増加傾向にあります。

児童数の少ない笹間第二小学校、内川目小学校、亀ヶ森小学校で比較的高くなっています。

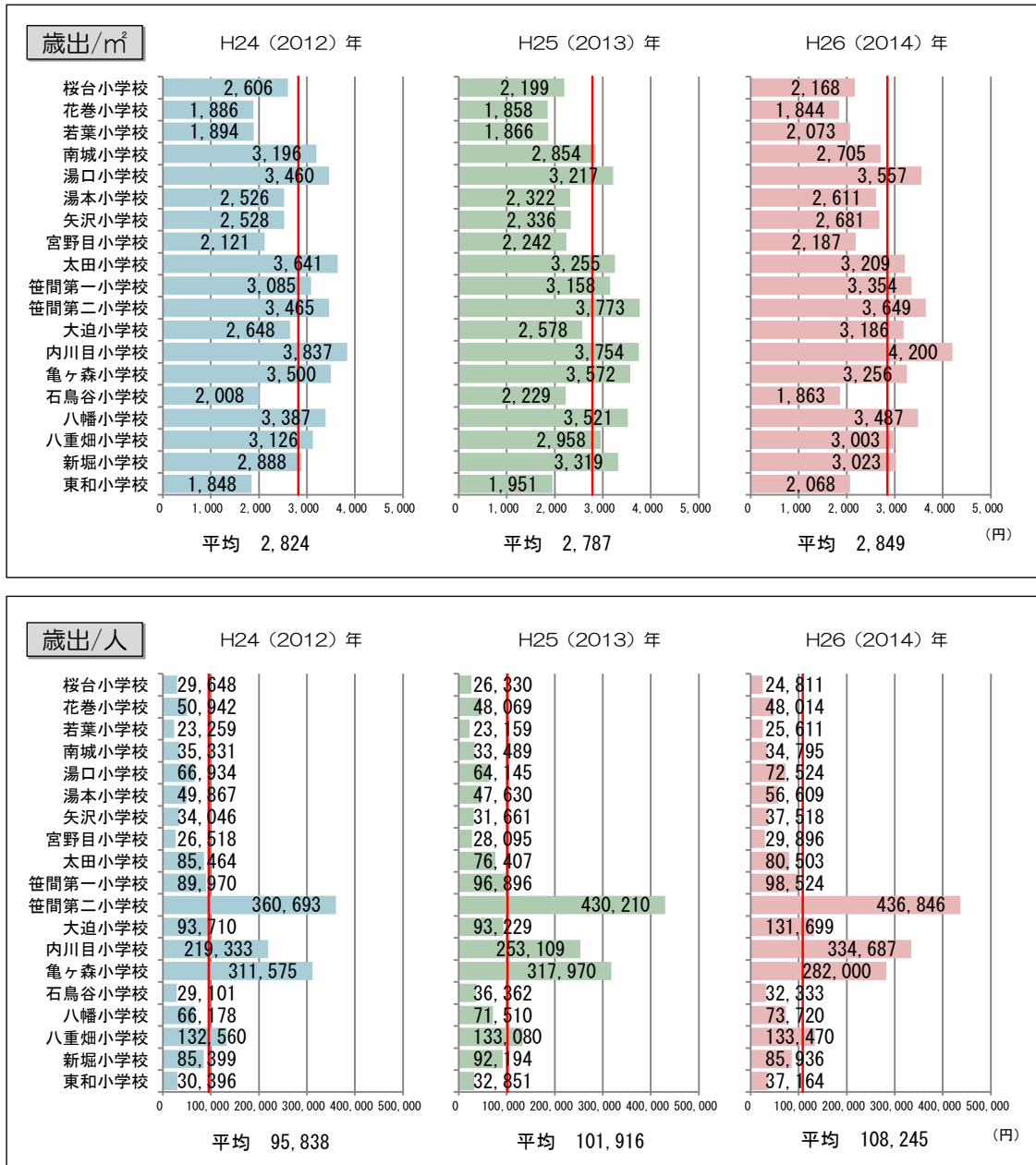


図 4.2.1.(10) 小学校の延床面積・児童数あたりの歳出

②中学校

延床面積あたりの歳出は、横ばい傾向にあります。

生徒数あたりの歳出は、横ばい傾向にあります。

生徒数の少ない湯口中中学校、大迫中学校で比較的高くなっています。

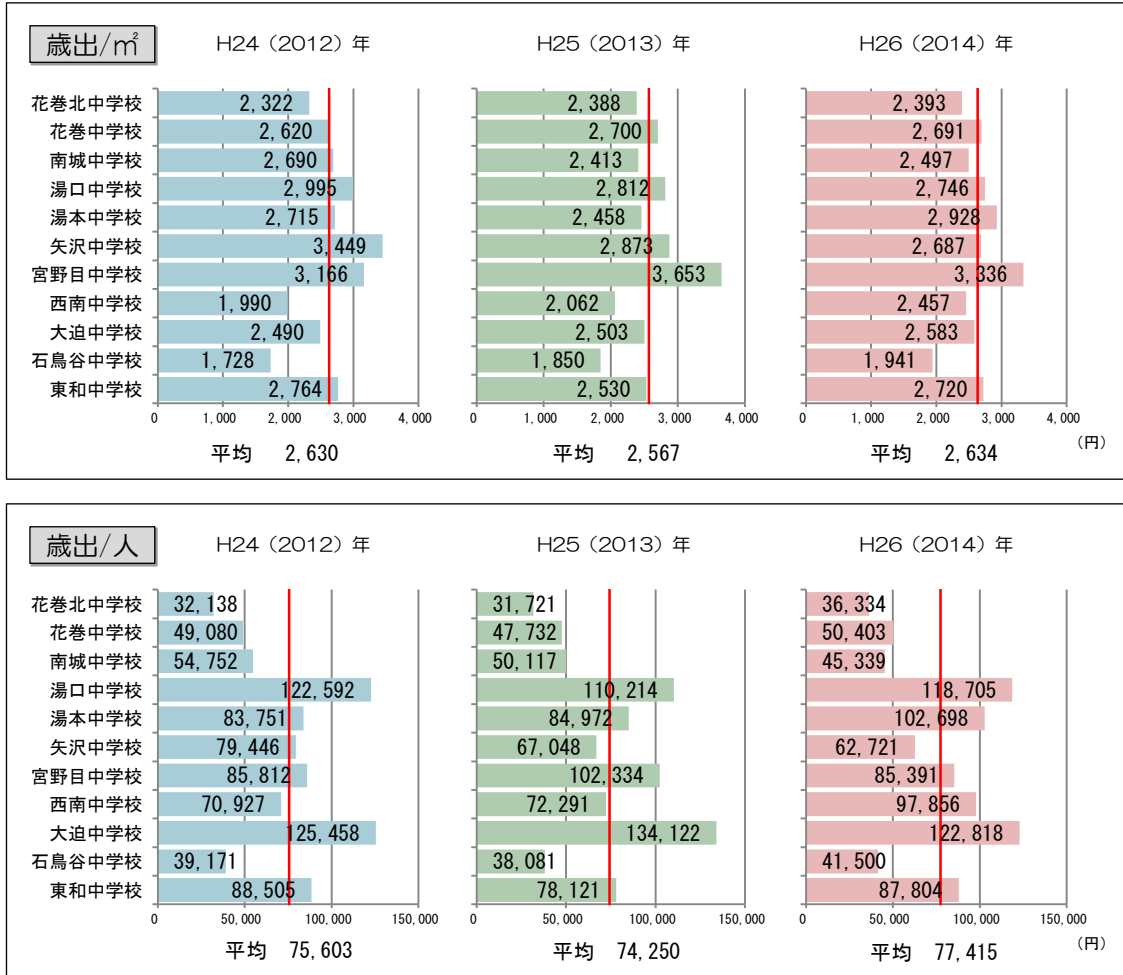


図 4.2.1.(11) 中学校の延床面積・生徒数あたりの歳出

③学校給食センター

延床面積あたりの歳出は、横ばい傾向にあります。

一食あたりの歳出は、年間食数の減少にともない増加傾向にあります。

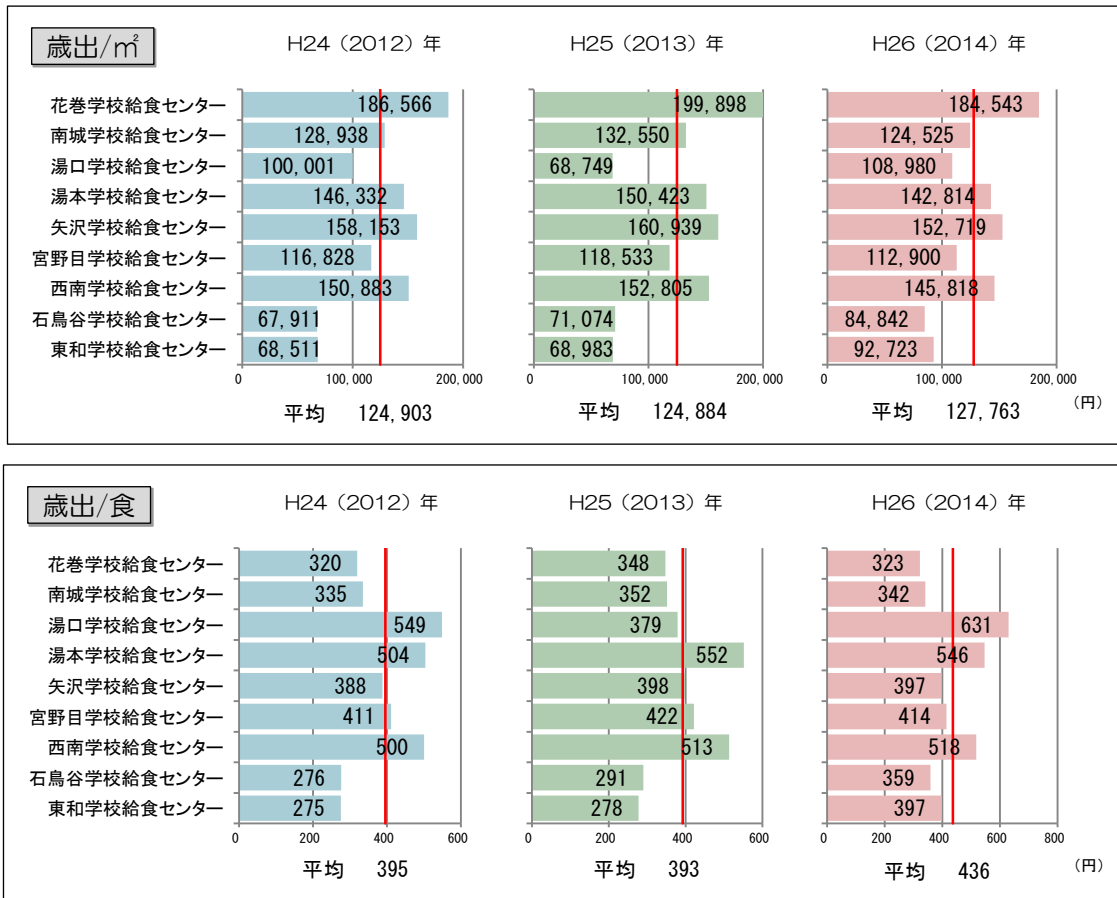


図 4.2.1.(12) 学校給食センターの延床面積・一食あたりの歳出

6) 学校教育系施設の現状

①施設の現状

- 施設数 39 施設、延床面積の合計は、169,893 m²で、全建物施設の 32.2%の割合を占めています。
- 経過年数 30 年以上の施設数は、21 施設となっています。
- 耐震化の状況は、2 施設で耐震性確保が課題となっています。
- 歳出は、小学校と中学校で横ばい傾向、学校給食センターでやや増加傾向にあります。
- 歳入は、小学校で増加傾向、中学校で横ばい傾向にあります。
- 小学校の児童数は、やや減少傾向にあります。
中学校の生徒数は、横ばい傾向にあります。
学校給食センターの給食数は、年間食数・一日あたりの給食数ともにやや減少傾向にあります。
- 延床面積あたりの歳出は、小学校、中学校、給食センターとも横ばい傾向にあります。
- 小学校の児童数あたりの歳出は、増加傾向にあります。
中学校の生徒数あたりの歳出は、横ばい傾向にあります。
学校給食センターの一食あたりの歳出は、増加傾向にあります。

②市民アンケート調査 クロス集計結果より

- 利用状況 年齢別：「利用していない」が 50～60 代で高い傾向にあります。
地区別：大迫地区の利用頻度が高い傾向にあります。
- 施設の数 年齢別：「適正」が 10 代で高い傾向にあり、20 代以上では約 3 割が「どちらともいえない」と回答しています。
地区別：地区ごとの差はあまり見られません。
- 施設の使いやすさ 年齢別：「満足」「やや満足」が 10 代で高い傾向にあり、10 代と 40 代を除く年代は約 5 割が「利用したことがない」と回答しています。
地区別：地区ごとの差はあまり見られません。
- 優先度 年齢別：30 代で非常に高い傾向にあります。
地区別：石鳥谷地区でやや高い傾向にあります。